

# エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間：2021年4月～2022年3月)

発行日：2022年5月31日


改定日：2023年3月11日



株式会社 都市ビルサービス  
株式会社 大竹環境保全



環境省  
エコアクション21  
認証番号 0011282



## 目次

1. 『SDG s』の取り組み	P. 2～3
2. 組織の概要・対象範囲	P. 4
3. 組織図・実施体制	P. 5
4. 環境経営方針	P. 6
5. 事業登録の内容等	P. 7～12
6. 広島蛍光灯リサイクルセンターについて	P. 13
7. 広島蛍光灯リサイクルセンターの処理フロー図	P. 14
8. 施設の状況	P. 15
9. 受託した廃棄物の処理実績	P. 16
10. 環境への負荷の実績	P. 16
11. 環境経営目標の取り組み結果	P. 17
12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて	P. 18～23
13. 環境経営目標及び環境経営活動計画	P. 24～27
14. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	P. 28
15. 代表者による全体評価と見直し・指示	P. 29

## 1. 『SDGs』の取り組み

私たちは、事業活動を通して、次世代に住みよい地球を引き継ぐため、又よりよい地域の生活環境の保全並びに公衆衛生の向上に貢献するために、以下の課題に取り組むこととします。

1. 性別や国籍を問わず、多種多様な人たちが共に活躍できる社会を形成します。
2. 事業活動を通して、持続可能な社会の実現に努めます。
3. エコアクション21等の環境への取組を通して環境負荷の低減を行います。
4. BCP（事業継続計画）を策定し、大規模災害時に地域社会への影響を最小限に抑えます。
5. ボランティア活動を通して地域・社会貢献に取り組みます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



# 1. 『SDGs』の取り組み

課 題	取り組み内容	関連するSGDs
<p>男女や国籍を問わず、多種多様な人たちが共に活躍できる社会を形成する</p>	<p>働き方改革（長時間労働の防止等） ダイバーシティ経営 女性の活躍 ワークライフバランスの推進 ハラスメント根絶 メンタルヘルス導入 定期健康診断 資格取得支援制度 DX積極的導入</p>	     
<p>事業活動を通して、持続可能な社会を実現する</p>	<p>廃棄物適正処理 有害物質除去（蛍光灯リサイクル） 住宅メンテナンスサービス提供 3Rの推進 消火器リサイクル特定窓口登録</p>	   
<p>エコアクション21等の環境への取組を通して環境負荷の低減を行う</p>	<p>エコアクション21認定取得 資源循環型社会の構築</p>	    
<p>BCP（事業継続計画）を策定し、大規模災害時に地域社会への影響を最小限に抑える</p>	<p>事業継続計画書策定 教育訓練実施 安否確認システム導入 災害救援協定書締結 災害時支援要請への協力</p>	   
<p>ボランティア活動を通して地域・社会貢献に取り組む</p>	<p>きれいなまちづくりキャンペーン参加 廃棄物適正処理出張講義</p>	   

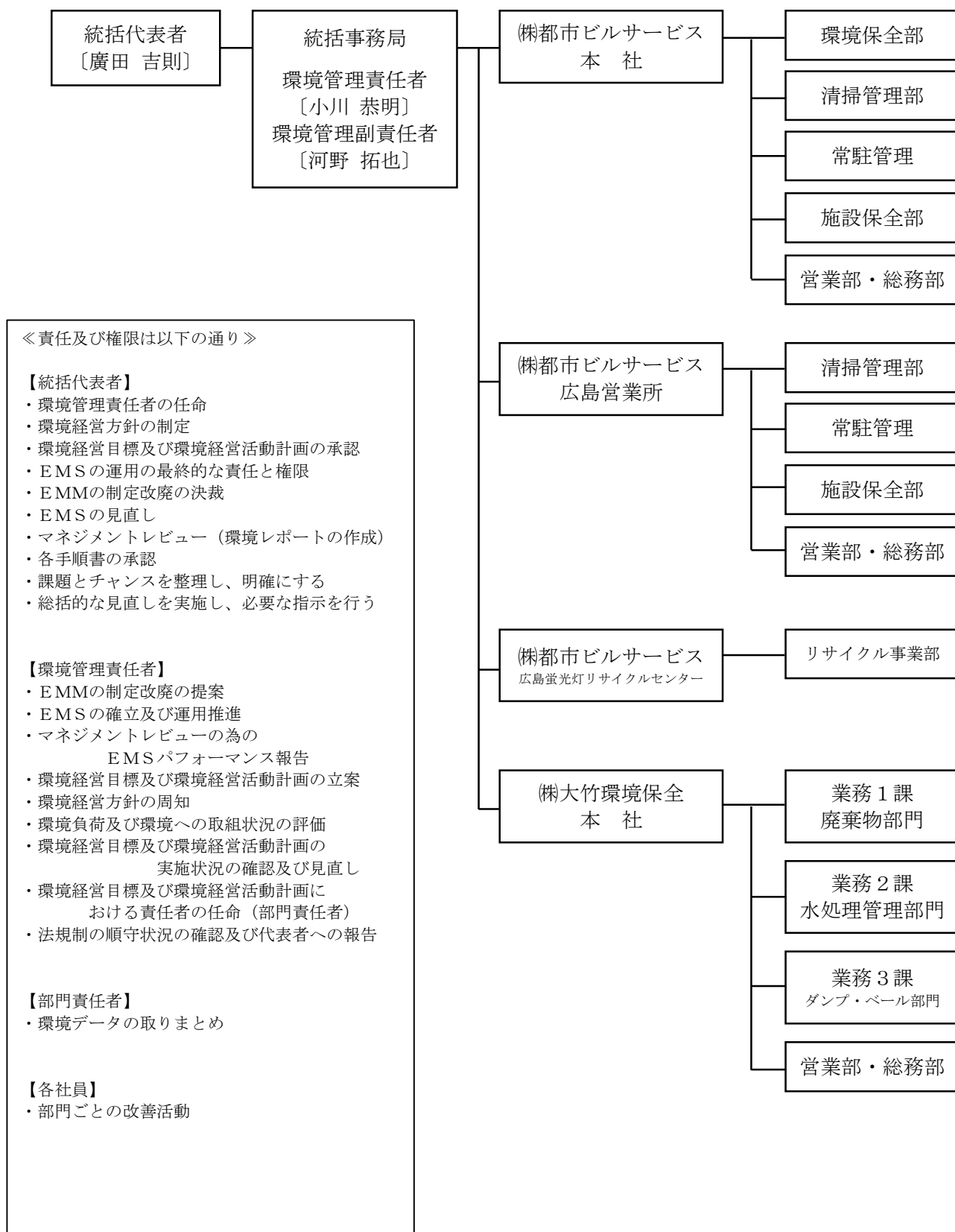
## 2. 組織の概要・対象範囲

統括代表者	㈱都市ビルサービス 代表取締役 廣田 吉則	
統括環境管理責任者	環境管理責任者	小川 恭明
	環境管理副責任者	河野 拓也
対象事業所及び所在地	㈱都市ビルサービス	
	本社	広島県東広島市八本松町原4792番地
	広島営業所	広島県広島市安佐南区大町西1-21-9
	広島蛍光灯リサイクルセンター	広島県大竹市東栄1-5-8
	㈱大竹環境保全	
	本社	広島県大竹市東栄1-2-8
法人設立年月日	㈱都市ビルサービス	創立：1977年2月22日
	㈱大竹環境保全	創立：1970年4月1日
資本金	㈱都市ビルサービス	2,000万円
	㈱大竹環境保全	1,000万円
事業の規模（2021年度）	㈱都市ビルサービス	総売上高：788百万
	㈱大竹環境保全	総売上高：375百万
担当者連絡先	統括事務局	TEL：082-429-3737

認証・登録事業者	株式会社都市ビルサービス	
事業活動	一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、特別管理産業廃棄物収集運搬、総合ビルメンテナンス、産業廃棄物中間処理、浄化槽管理、一般貨物輸送	
対象事業所	本社、広島営業所、広島蛍光灯リサイクルセンター、株式会社大竹環境保全	
認証・登録日	2016年4月3日	

(複数法人による一括承認)

### 3. 組織図・実施体制





## 4. 環境経営方針

# 環 境 経 営 方 針

株式会社 都市ビルサービス及び株式会社 大竹環境保全是「次世代に住みよい地球を引き継ぐために、よりよい地域の生活環境の保全並びに公衆衛生の向上に貢献する。」ことを基本理念とし以下の方針を定めて環境に調和した事業活動を行います。

1. エコアクション21ガイドラインに準拠した環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善することにより環境経営を推進します。
2. 環境法規制及び地域と取り交わした協定を遵守いたします。
3. 株式会社 都市ビルサービス及び株式会社大竹環境保全是廃棄物の収集運搬、水処理、ビル管理、蛍光灯リサイクル業務を行っていることを踏まえ、下記の項目を重点活動項目と定め、事業活動の環境負荷を低減します。
  - ① 節電、省エネルギーにより、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
  - ② 水使用量の削減に努めます。
  - ③ 循環型社会の構築の為、3Rの推進（削減、再利用、再資源化）に努めます。
  - ④ 受託した廃棄物の再資源化に取り組みます。
  - ⑤ 化学物質の適正処理
  - ⑥ 課題とチャンスを踏まえて、業務改善に取り組みます。
4. 環境への取組を環境活動レポートに取りまとめ公表します。

2015年 9月 1日 制定

2021年 4月 1日 改定

株式会社 都市ビルサービス  
株式会社 大竹環境保全

統括代表者  
株式会社 都市ビルサービス  
代表取締役 廣田 吉則

## 5. 事業登録の内容等 【株式会社ビルサービス】

一般廃棄物収集運搬業許可一覧		
許可範囲	許可番号	許可期間
東広島市 (西条・八本松・志和・高屋)	101	自：2022年（令和4年）4月1日 至：2024年（令和6年）3月31日
東広島市 (黒瀬)	102	自：2021年（令和3年）4月1日 至：2023年（令和5年）3月31日
東広島市 (福富)	103	自：2021年（令和3年）4月1日 至：2023年（令和5年）3月31日
東広島市 (河内)	104	自：2021年（令和3年）4月1日 至：2023年（令和5年）3月31日

産業廃棄物処分業（中間処理）			
許可範囲	広島県	許可期間	自：2020年（令和2年）1月20日 至：2025年（令和7年）1月19日
許可番号	第03421035777号		
所在地	広島県大竹市東栄一丁目5-8		
処理能力	2.16 t / 日 ※詳細は設備詳細参照		
処理工程	蛍光灯リサイクルフロー参照		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	【破碎・加熱分離・選別】廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず（これらのうち廃蛍光管、廃水銀灯及び廃ランプ類に限り、水銀使用製品産業廃棄物（水銀回収義務のあるものを除く）を含み、廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃石膏ボード、廃容器包装、自動車等破碎物、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）		



## 5. 事業登録の内容等 【株式会社ビルサービス】

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	広島県	許可期間	自：2021年（令和3年）1月14日 至：2026年（令和8年）1月13日
許可番号	第03411035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	<p>【積替え保管含む】 汚泥（廃電池に限る）、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント配線板、廃ブラウン管、廃石膏ボード、廃容器包装及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、自動車等破砕物、石綿含有産業廃棄物、水銀含有ばいじん等、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）</p> <p>【積替え保管は含まない】 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）陶磁器くず及びがれき類（これらのうち廃プリント配線板、廃ブラウン管、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃石膏ボード、廃容器包装、石綿含有産業廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、水銀含有ばいじん等、判定基準に適合しないもの及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）</p>		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	広島市	許可期間	自：2019年（令和元年）11月13日 至：2024年（令和6年）11月12日
許可番号	第03411035777号		
所在地	広島県広島市安佐南区大町西一丁目21-9		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	<p>【積替え保管含む】 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず（これらのうち水銀使用製品産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、廃プリント配線板、廃容器包装、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃ブラウン管、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）</p> <p>【積替え保管は含まない】 燃え殻（判定基準に適合しないものを含まない）、汚泥（判定基準に適合しないものを含まない）、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず、がれき類（これらのうち廃プリント配線板、廃容器包装、鉛蓄電池の電極、鉛製の管又は板、廃ブラウン管、廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物を含み、自動車等破砕物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）</p>		

## 5. 事業登録の内容等 【(株)都市ビルサービス】

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	山口県	許可期間	自：2020年（令和2年）7月28日 至：2025年（令和7年）7月27日
許可番号	第03500035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず（自動車等破砕物を除く） （これらのうち、石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く）		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	岡山県	許可期間	自：2021年（令和3年）7月29日 至：2026年（令和8年）7月10日
許可番号	第03300035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類（自動車等破砕物を除く）、金属くず（自動車等破砕物を除く）ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く）・陶磁器くず（自動車等破砕物を除く） （これらのうち石綿含有産業廃棄物を除く）		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	島根県	許可期間	自：2021年（令和3年）8月3日 至：2026年（令和8年）7月26日
許可番号	第3200035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず等		

## 5. 事業登録の内容等 【(株)都市ビルサービス】

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	鳥取県	許可期間	自：2022年（令和4年）3月28日 至：2027年（令和9年）3月27日
許可番号	第03104035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	香川県	許可期間	自：2022年（令和4年）5月10日 至：2027年（令和9年）5月9日
許可番号	第03709035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	愛媛県	許可期間	自：2022年（令和4年）4月15日 至：2027年（令和9年）3月20日
許可番号	第3806035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 （事業計画の概要及び事業範囲含む）	廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く）及び陶磁器くず		

## 5. 事業登録の内容等 【株式会社ビルサービス】

特別管理産業廃棄物収集運搬業			
許可範囲	広島県	許可期間	自：2021年（令和3年）6月6日 至：2026年（令和8年）6月5日
許可番号	第03451035777号		
所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃酸（水素イオン濃度指数2.0以下のものに限り特定有害産業廃棄物であるものを除く）</li> <li>・廃アルカリ（水素イオン濃度指数12.5以上のものに限り、特定有害産業廃棄物であるものを除く）</li> <li>・感染性産業廃棄物</li> </ul>		

ビルメンテナンス		
許可名	許可番号	許可期間
建築物環境衛生総合管理業	広島県17総第80008号	自：2017年（平成29年）10月19日 至：2023年（令和5年）10月18日
建築物貯水槽清掃業	広島県61貯第4124号	自：2017年（平成29年）3月10日 至：2023年（令和5年）3月9日
建築物ねずみ昆虫等防除業	広島県60ね第5058号	自：2022年（令和4年）3月18日 至：2028年（令和10年）3月17日
建築物排水管清掃業	広島市27排第61017号	自：2021年（令和3年）8月11日 至：2027年（令和9年）8月10日
警備業	第73000395号	自：2017年（平成29年）8月23日 至：2022年（令和4年）8月22日

## 5. 事業登録の内容等 【株大竹環境保全】

一般廃棄物収集運搬業許可一覧		
許可範囲	許可番号	許可期間
大竹市 (事業系一般廃棄物)	233	自：2022年(令和4年)4月1日 至：2024年(令和6年)3月31日
大竹市 (浄化槽汚泥収運及び浄化槽清掃)	234	自：2022年(令和4年)4月1日 至：2024年(令和6年)3月31日
山口県玖珂郡和木町	20	自：2021年(令和3年)4月1日 至：2023年(令和5年)3月31日

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	広島県	許可期間	自：2018年(平成30年)8月28日 至：2023年(令和5年)8月27日
許可番号	第03411136822号		
所在地	広島県大竹市東栄1丁目2-8		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	【積替え保管含む】 廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類・非飛散性石綿含有産業廃棄物 (積替え・保管を含まない)燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・動植物性残さ・鉱さい・動物のふん尿・ばいじん		

産業廃棄物収集運搬			
許可範囲	山口県	許可期間	自：2017年(平成29年)8月2日 至：2022年(令和4年)8月1日
許可番号	第035011136822号		
所在地	広島県大竹市東栄1丁目2-8		
産業廃棄物の種類 (事業計画の概要及び事業範囲含む)	【積替え保管は含まない】 汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ・廃プラスチック類・紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残さ・ゴムくず・金属くず・ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類・動物のふん尿・非飛散性石綿含有産業廃棄物		

浄化槽管理	
許可範囲	許可期限
広島県大竹市・廿日市市	2024年(令和6年)12月31日
山口県玖珂郡和木町	2023年(令和5年)3月8日

一般貨物運送	
許可発出日	
	2011年(平成23年)3月30日

## 6. 広島蛍光灯リサイクルセンターについて



水銀回収装置「マーチ21」

蛍光灯の水銀を低温で蒸発させ回収することの出来る専用リサイクル装置です。

蛍光灯の中には「水銀」が含まれています。

水銀を除去せず埋め立て処理を行うと、水銀が土壌を汚染し、地下水や河川に流れ出て水質汚染を引き起こす可能性があります。

都市ビルサービスでは、使用済み蛍光灯から有害な水銀を除去し、蛍光灯を構成するガラスや金属部品までも適正にリサイクルする、中四国地方で初の蛍光灯リサイクル施設「広島蛍光灯リサイクルセンター」を運営しています。

直管形・環状管形・コンパクト形などすべてに対応し、環境に配慮したリサイクルシステムでリサイクル率95%という徹底した資源の再利用化を実現しています。

### 蛍光灯RC処理設備

種類・名称	能力	所有台数
水銀除去装置：マーチ21	2.16t/日	1
環境集塵機	30m <sup>3</sup> /分	2
破砕機：両端カット破砕機	1,000本/h	1
破砕機：手作業カット破砕機	1,000本/h	1
破砕機：マルチ破砕機	1,000本/h	1
ミキサー式パウダー分離装置	2,000kg/日	1
選別機：磁選機		1
選別機：分級選別機		1



## 7. 広島蛍光灯リサイクルセンターの処理フロー図

### ① 使用済蛍光灯の収集・選別



### ② 蛍光灯の破碎処理

「マルチ破碎機」「両端カット破碎機」「手作業カット破碎機」によって使用済蛍光灯を、ガラスと口金部分に分別し、一定の大きさに破碎します。



### ③ パウダー（蛍光粉）の分離

破碎機にて破碎分別されたガラスと口金部分を「ミキサー式パウダー分離装置」にて、蛍光パウダーを分離回収します。



### ④ ガラス等の無害化処理

「マーチ21」で破碎したガラスと口金部分に含まれる微量の水銀蒸気を回収し、無害化します。



### ⑤ 分級・選別

無害化処理されたガラスと口金部分を、磁力選別機・トロンメルによって金属回収・粒度選別を行います。



### ⑥ リサイクル原料化

金属原料は電線や自動車部品等にリサイクルし、ガラスは工芸品や断熱材等に生まれ変わります。



## 8. 施設の状況

積替保管場所		
㈱都市ビルサービス 本社	所在地	広島県東広島市八本松町原4792番地
	保管上限	55.00m <sup>3</sup>
	面積	43.95m <sup>2</sup>
㈱都市ビルサービス 広島営業所	所在地	広島県広島市安佐南区大町西一丁目21-9
	保管上限	6.00m <sup>3</sup>
	面積	3.64m <sup>2</sup>
㈱都市ビルサービス 広島蛍光灯RC	所在地	広島県大竹市東栄一丁目5-8
	保管上限	68.65m <sup>3</sup>
	面積	44.8m <sup>2</sup>
㈱大竹環境保全	所在地	広島県大竹市東栄一丁目2-8
	保管上限	201.22m <sup>3</sup>
	面積	226.81m <sup>2</sup>

車両の種類と台数						
		本社	広島営業所	蛍光灯RC	大竹環境保全	合計
収集運搬車両	10t ダンパー				5台	5台
〃	10t ダンプ				5台	5台
〃	10t ウィング				1台	1台
〃	10t パッカー				3台	3台
〃	4t パッカー	15台			2台	17台
〃	4t ダンパー				1台	1台
〃	4t ダンプ	3台			3台	6台
〃	4t バキューム				1台	1台
〃	2t パッカー	3台			2台	5台
〃	2t ダンプ	4台			2台	6台
〃	2t バキューム				1台	1台
業務車両	4t 平ボディ			1台		1台
	2t 平ボディ			1台		1台
	4t 排水管洗浄車	1台	1台		1台	3台
	バン 他	6台	14台		8台	28台
営業車		5台	3台		2台	10台

## 9. 受託した廃棄物の処理実績

処理実績		
一般廃棄物収集運搬	都市ビルサービス	8,449 t
	大竹環境保全	10,338 t
産業廃棄物収集運搬	都市ビルサービス	534 t
	大竹環境保全	54,571 t
特別管理産業廃棄物収集運搬	都市ビルサービス	4 t
産業廃棄物収集運搬 (蛍光灯リサイクル)	都市ビルサービス	15 t
産業廃棄物中間処理 (蛍光灯リサイクル)	都市ビルサービス	32 t

## 10. 環境への負荷の実績

環境への負荷（都市ビルサービス・大竹環境保全 合計分）		
二酸化炭素排出量（※1）	二酸化炭素	633,230 kg-co2
二酸化炭素排出量 (サイト別内訳)	株式会社都市ビルサービス 本社	327,902 kg-co2
	株式会社都市ビルサービス 広島営業所	62,986 kg-co2
	株式会社都市ビルサービス 広島蛍光灯リサイクルセンター	26,601 kg-co2
	株式会社大竹環境保全	215,741 kg-co2
水使用量	上水（※2）	2,106 m <sup>3</sup>
廃棄物排出量	事業系廃棄物（※2）	4 t
化学物質使用量 (2-アミノエタノール)	(※2)	24 ℓ

（※1）二酸化炭素排出係数は【0.585】を使用

（※2）都市ビルサービス・大竹環境保全の合計値を記載

## 11. 環境経営目標の取り組み結果

項目	単位	2021年4月～2022年3月		目標値(%)	結果	達成状況
		基準値(前年度)	今年度実績値			
電気使用量の抑制	kg-CO2	87,496	83,988	▲3%	▲4.0%	○
自動車燃料の削減 (その他車両)	kg-CO2	86,928	87,957	▲3%	+1.1%	×
自動車燃料の削減 (収集運搬車両)	kg-CO2	489,813	466,283	▲3%	▲4.8%	○
事務所ゴミの削減	kg	4,273	4,248	▲10%	▲0.5%	×
廃棄物のリサイクル	kg (紙)	4,723	4,840	+3%	+2.4%	×
	kg (缶)	387	415	+3%	+7.2%	○
	kg (ペット)	297	343	+3%	+15.4%	○
節水	m <sup>3</sup>	1,999	2,106	▲2%	+5.3%	×
リサイクル処理される 処分先への搬入促進	—	—		—	—	○
化学物質の適正管理	—	—		—	—	○
業務改善	—	—		—	—	○
教育訓練の実施	—	—		—	—	○

## 12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

【中期環境経営活動計画】			
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容	評価
都市ビルサービス 環境保全部	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う	○
		昼休み中は消灯する	○
		定時に消灯確認をする	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		月1回の収集運搬効率化会議を実施する	○
		各収集コースの定期的な見直しを実施する	△
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		不要箇所の空調を停止する	○
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	○
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	○
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える	○
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする	○
	受託した廃棄物に関する項目	段ボールの再資源化を顧客に対し積極的に促進する	○
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	○
教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	○	
都市ビルサービス ビルメンテナンス	二酸化炭素排出量の削減	昼休み中は消灯する	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		不要箇所の空調を停止する	○
		定期的に燃料データの確認を行う	○
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	○
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	△
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える	○
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする	○
	化学物質適正管理	使用洗剤のMSDSを取得し、保管する	○
		洗剤の購入記録の管理をする	○
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	○
	教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	○

## 12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

【中期環境経営活動計画】			
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容	評価
都市ビルサービス リサイクル事業部	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う	○
		昼休み中は消灯する	○
		定時に消灯確認をする	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		不要箇所の空調を停止する	○
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	○
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	○
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える	○
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする	○
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	○
教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	○	
都市ビルサービス 総務部・営業部	二酸化炭素排出量の削減	昼休み中は消灯する	○
		定時に消灯確認をする	○
		不要箇所の空調を停止	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
	廃棄物の削減	電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	○
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	○
		無駄な水の使用を控える	○
	水道水使用量削減	水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする	○
		設定した課題を改善する取り組みを行う	○
	教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	○



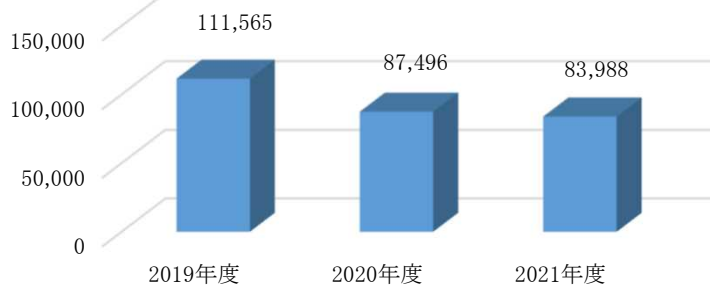
## 12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

【中期環境経営活動計画】			
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容	評価
大竹環境保全	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う	○
		昼休み中は消灯する	○
		定時に消灯確認をする	○
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する	○
		安全運転五則を常に意識した運転を行う	○
		月1回の収集運搬効率化会議を実施する	○
		各収集コースの定期的な見直しを実施する	○
		定期的に燃料データの確認を行う	○
		不要箇所の空調を停止する	○
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)	○
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	○
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	○
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	○
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える	○
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする	○
	受託した廃棄物に関する項目	段ボールの再資源化を顧客に対し積極的に促進する	○
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	○
	教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	○

## 12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

### 電気使用量の抑制

単位(kg-co2)



毎日定時に不要電気確認

#### 【評価】

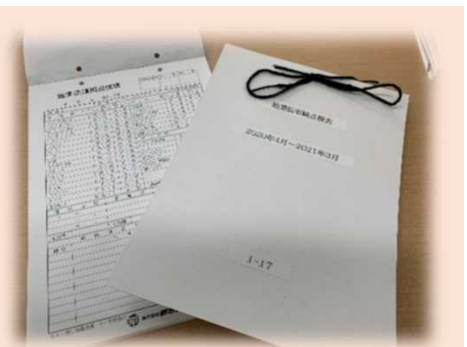
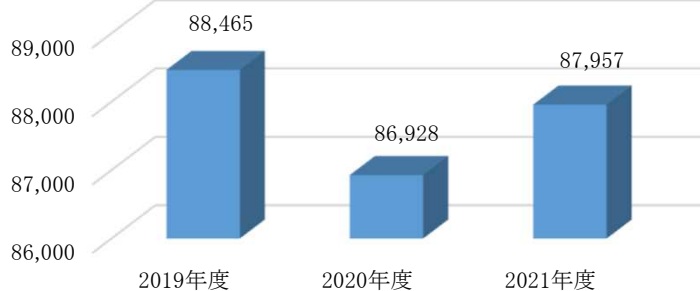
今年度は更に抑制できたことが嬉しい。部門責任者が積極的に取り入れた微消費電力の冷暖房器具を取り入れた事が大きい。引き続き窓の換気とともに使用量削減案を考えていく。

#### 【次年度の取り組み】

今回取り入れた電気毛布等の他にも、何かしら電力消費抑制に貢献できる物があるはずだ。大幅減は難しいとは思いますが、あらゆる手段を模索する。

### 自動車燃費の削減(その他車両)

単位(kg-co2)



毎朝、車両点検を確実に実施  
記録を保管しています

#### 【評価】

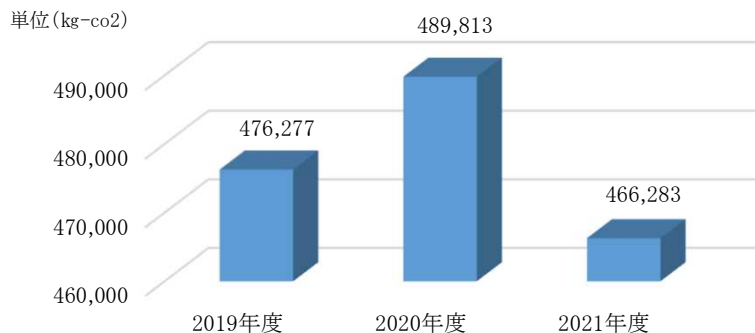
営業範囲の拡大が影響している。遠方になる為、その分使用量も増える為に致し方ない。使用量増=売上増に繋げるよう努力していく。

#### 【次年度の取り組み】

営業車でハイブリッド車を導入検討中である。燃費向上にも即繋がると思われるので、早い段階で導入できればと考えている。

## 12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

### 自動車燃費の削減(収集運搬車両)



収集コースの入替え等、  
無駄な運転を改善

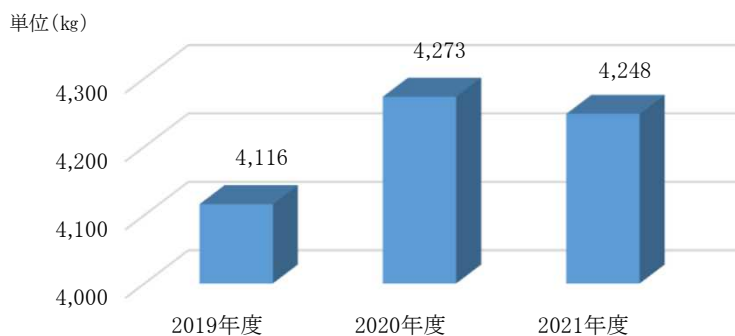
#### 【評価】

都市ビルでは微増してしまっている。新しい従業員が増え、コースの見直しも進んではいるものの、走行能力という点ではまだまだベテランには敵わない。能力アップに力を入れていく。

#### 【次年度の取り組み】

大竹環境では数値が違い過ぎる為、一概に比較してはいけないと考える。引き続き効率化会議の充実が大切になってくると考えている。

### 廃棄物の削減



積極的に資源化していく

#### 【評価】

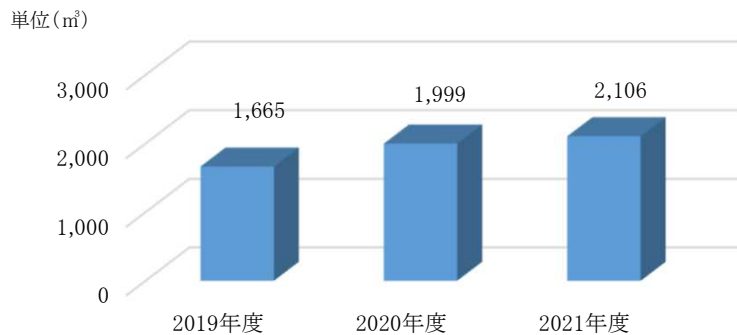
チャットワークで活用で今までの伝言メモ等のやり取りからチャットに変わったことでペーパーレスが進んだように思うので良かった。

#### 【次年度の取り組み】

チャットワークである程度の結果が出たので皆が実感できていると思う。より浸透させることで削減に繋がれると思うので、そこに力を入れる。

## 12. 各取り組みの結果と評価、次年度の取り組みについて

### 水道使用量抑制



水道前に「節水」の掲示

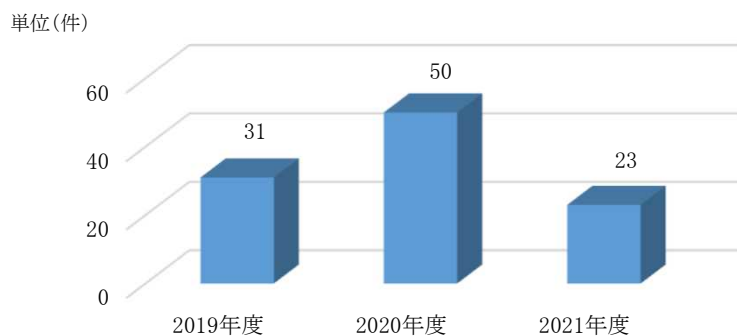
#### 【評価】

洗車等での使用量が削減できなかった。車体の大きさ、頻度を考えるとどうも難しい。結果的に年々増えてきているので強く意識すべき項目である。

#### 【次年度の取り組み】

水を使う回数が増えれば自ずと使用量も増えてしまうと感じる。なるべく回数を少なくできるように他の面で効率よく進め、同時に水使用も控えられるよう努める。

### 蛍光灯リサイクルの搬入顧客拡大



様々な種類の蛍光灯がリサイクル可能です

#### 【評価】

2年続けて大幅増という結果だったが今年度は思っていたより増えてなかった。電話営業で断られるケースが多く、併せてお客様からの紹介も少なかったのが痛い。

#### 【次年度の取り組み】

未だ訪問営業を躊躇する時代なので、zoom等を活用した営業も踏まえ検討していく時期だと思う。パソコンが苦手な従業員も多いので、お客様にご迷惑を掛けたくないよう努力していく。

### 13. 中期環境経営目標及び中期環境経営活動計画

【中期環境経営目標】						
環境方針	環境目標項目	部門責任者	2021年度実績 (基準年度)	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素 排出量 の削減	電気使用量 の抑制	T1:増本 T2:村上 T3:米村 O:中野	83,988 kg-Co2	目標 基準年度△ 3%	目標 基準年度△ 5%	目標 基準年度△ 7%
	自動車燃料の削減 (その他車両)	T1:松本(隆) T2:池上 T3:米村 O:竹田	87,957 kg-Co2	目標 基準年度△ 3%	目標 基準年度△ 5%	目標 基準年度△ 7%
	自動車燃料の削減 (収集運搬車両)	T1:小林 O:田中	466,283 kg-Co2	目標 基準年度△ 3%	目標 基準年度△ 4%	目標 基準年度△ 5%
廃棄物 の削減	事務所ゴミ の削減	T1:増本 T2:村上 T3:米村 O:小西	4,248 kg	目標 基準年度△ 5%	目標 基準年度△ 10%	目標 基準年度△ 15%
	廃棄物の リサイクル	T1:増本 T2:村上 T3:米村 O:山下	4,840 kg(紙) 415 kg(缶) 343 kg(ペット)	目標 基準年度+ 3%(各項目)	目標 基準年度+ 5%(各項目)	目標 基準年度+ 7%(各項目)
水道水使用量 削減	節水	T1:該当なし T2:村上 T3:米村 O:森脇	2,106 m <sup>3</sup>	目標 基準年度△ 2%	目標 基準年度△ 4%	目標 基準年度△ 6%
受託した 廃棄物に 関する項目	リサイクル処理 される 処分先への 搬入促進	T:山本 O:河野	—	・契約時に顧客に説明 ・新規リサイクル先の開拓	・契約時に顧客に説明 ・新規リサイクル先の開拓	・契約時に顧客に説明 ・新規リサイクル先の開拓
化学物質 適正管理	化学物質の 適正管理	T12:松本(隆) T3:該当なし O:該当なし	—	目標 使用薬剤の適正管理	目標 使用薬剤の適正管理	目標 使用薬剤の適正管理
課題と チャンス	業務改善	T:小川 O:河野	—	目標 業務の改善	目標 業務の改善	目標 業務の改善
教育訓練	教育訓練の実施	T:小川 O:河野	—	目標 教育訓練の実施	目標 教育訓練の実施	目標 教育訓練の実施

※部門責任者欄 T=都市ビルサービス全体 T1=都市ビルサービス本社 T2=都市ビルサービス広島営業所  
T3=都市ビルサービス蛍光灯リサイクルセンター O=大竹環境保全 各社担当者を選任

### 13. 中期環境経営目標及び中期環境経営活動計画

【中期環境経営活動計画】		
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容
都市ビルサービス 環境保全部	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う
		昼休み中は消灯する
		定時に消灯確認をする
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		月1回の収集運搬効率化会議を実施する
		各収集コースの定期的な見直しを実施する
		定期的に燃料データの確認を行う
		不要箇所の空調を停止する
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする
	受託した廃棄物に関する項目	段ボールの再資源化を顧客に対し積極的に促進する
課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う	
教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	
都市ビルサービス ビルメンテナンス	二酸化炭素排出量の削減	昼休み中は消灯する
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		定期的に燃料データの確認を行う
		不要箇所の空調を停止する
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする
	化学物質適正管理	使用洗剤のMSDSを取得し、保管する
		洗剤の購入記録の管理をする
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う
	教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する



### 13. 中期環境経営目標及び中期環境経営活動計画

【中期環境経営活動計画】		
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容
都市ビルサービス リサイクル事業部	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う
		昼休み中は消灯する
		定時に消灯確認をする
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		定期的に燃料データの確認を行う
		不要箇所の空調を停止する
	廃棄物の削減	ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)
		電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う
教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する	
都市ビルサービス 総務部・営業部	二酸化炭素排出量の削減	昼休み中は消灯する
		定時に消灯確認をする
		不要箇所の空調を停止
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		定期的に燃料データの確認を行う
		ミスプリントの防止(プリント前の確認徹底)
	廃棄物の削減	電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる
		メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する
		リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける
		無駄な水の使用を控える
	水道水使用量削減	水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする
		課題とチャンス
	教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する

### 13. 中期環境経営目標及び中期環境経営活動計画

【中期環境経営活動計画】		
該当部署	活動項目	実際の取り組み内容
大竹環境保全	二酸化炭素排出量の削減	倉庫作業時、不要な電灯の消灯を行う
		昼休み中は消灯する
		定時に消灯確認をする
		毎週、週初めの朝礼時に低燃費運転等実行手順を唱和する
		安全運転五則を常に意識した運転を行う
		月1回の収集運搬効率化会議を実施する
		各収集コースの定期的な見直しを実施する
		定期的に燃料データの確認を行う
		不要箇所の空調を停止する
		廃棄物の削減
	電子メールを活用して紙使用量の削減に繋げる	
	メモ等で紙を使用する際はミスプリントを活用する	
	リサイクル指定品目の持ち込みを呼び掛ける	
	水道水使用量削減	無駄な水の使用を控える
		水道周りに節水の注意喚起を促す掲示をする
	受託した廃棄物に関する項目	段ボールの再資源化を顧客に対し積極的に促進する
	課題とチャンス	設定した課題を改善する取り組みを行う
	教育訓練	改善するべき点を指摘・指導する

14. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

No.	法的およびその他の要求事項の名称	都市ビルサービス			大竹環境保全
		本社	広島	蛍光灯	
1	道路運送車両法	○	○	○	○
2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○	○	○	○
3	東広島市廃棄物の処理、清掃等に関する条例	○			
4	東広島市固形状一般廃棄物収集運搬業の許可条件	○			
5	固形状一般廃棄物収集運搬業の遵守事項（東広島市）	○			
6	東広島市廃棄物処理施設設置及び管理条例	○			
7	事業系一般廃棄物の処理の取扱要綱（東広島市）	○			
8	東広島市一般廃棄物収集運搬委託業務の委託条件	○			
9	建築物における衛生的環境の確保に関する法律	○	○		
10	広島県生活環境の保全等に関する条例（騒音関連）	○	○	○	○
11	労働安全衛生法	○		○	
12	クレーン等安全規則	○			
13	使用済自動車の再資源化等に関する法律	○	○	○	○
14	産業廃棄物処理実績報告	○		○	
15	食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律	○			
16	山口県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			○
17	岡山県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
18	島根県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
19	愛媛県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
20	香川県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
21	鳥取県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	○			
22	消防法		○	○	○
23	広島市環境の保全及び創造に関する基本条例		○		
24	広島市廃棄物の処理及び清掃に関する条例・規則		○		
25	大竹市廃棄物の処理及び清掃に関する条例			○	○
26	公害防止協定			○	
27	県外産業廃棄物の県内搬入処理に係る事前協議に関する要綱			○	
28	浄化槽法				○
29	山口県浄化槽保守点検業者登録条例				○
30	広島県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例				○
31	和木町廃棄物処理及び清掃に関する条例				○
32	水質汚濁防止法				○
33	大竹市火災予防条例				○
34	悪臭防止法				○
35	瀬戸内海環境保全特別措置法				○
36	山口県循環型社会形成推進条例				○
37	計量法				○
38	貨物自動車運送事業法				○
39	貨物自動車運送事業輸送安全規則				○
40	毒物及び劇薬取締法				○
41	フロン排出抑制法		○	○	○

【違反・訴訟等の有無】

過去5年間に渡って、環境関連法規への違反はありませんでした。

尚、関係当局より違反等の指摘はありませんでした。

## 15. 代表者による全体評価と見直し・指示

全体評価	項目		評価の内容	
				環境への取り組みは適正に実施されているか
			環境経営システムが有効に機能しているか	問題なくシステム運営出来ていると思います。
見直し・指示	対象	変更の有無	見直しの内容・指示	
	環境経営方針	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	変更ありません。	
	環境経営目標・計画	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	引き続き課題とチャンスクリアする為の活動に精進してください。	
	実施体制	<input type="checkbox"/> 有/ <input checked="" type="checkbox"/> 無	各部門の改善活動を更に良いものにできるよう活動してください。	

### ●課題とチャンス

昨年掲げたDX完備させるという目標においてはまず『Chatwork(チャットワーク)』を本格運用させたことが良かったと感じており、従業員同士のコミュニケーションスキルの向上、タスク管理による業務効率化、ともに改善傾向がみられる。但し、何時、何処で、どの様な状態においても携帯(或いはPC)1つで報連相がとれる状態にしているにも関わらず、事務所に戻ってから直接報告するという様な事例も見受けられるので、Chatworkの使用をもっと浸透させるのが次の課題であるとする。

次に、まだまだコロナウイルスの脅威が収まらない中でテレワーク対策ができていなかったのが気になっていたが、次年度より正式にビジネスフォン『MOT/Phone(モットフォン)』を採用することが決定している。2022年3月から実際に育休に入った従業員もいる。幸いコロナウイルスに感染した従業員は未だいないが、今後も感染の恐怖は消えない中で、このMOT/Phoneを上手く活用できればと思う。最後に、電子キャッシュレス決済システム『PayPay』を導入する予定だ。現場作業時にお客様から集金する方法は現金受渡しの手間やお釣りの準備も必要である為、従業員には負担を掛けていた。キャッシュレス化して細かい現金を持っていない人も大勢いるであろう昨今、従業員も負担減になることでWin-Winになれば良いと考える。

### ●代表者の総括

2021年度が終了したが、長期課題に設定したDX化が少しずつであるが進んだのが良かった。次年度もより良いシステムを構築できるよう努めていく。

2021年度を振り返るが、数値的には悪化したが良い兆候だと思えたのが自動車燃費の項目である。これまで東広島市及び広島市を中心に営業活動をしてもらっていたが、既存顧客も増えた中で今まで以上の成果を上げるのは厳しいだろうと考えていた。そんな状況で営業の従業員自らが活動範囲を広げたいと申し出てくれた。即結果が出るとは思わないが、積極的に活動したいという思いを感じられたのは良かったと思っている。

又、営業車でハイブリッド車の購入を検討している。走行距離が長い車は特に効果を実感できると思われるので随時導入し、燃費向上に期待したい。

次に、電気使用量の削減が更にできたことだ。微消費電力の冷暖房器具を使うことで消費電力の高いエアコンの消費を抑えられたのが大きい。これは部門責任者が率先して使ったことにより他の従業員も追随したことにより良い結果を得られたのである。そんな中、一時停電するというトラブルもあったが、充電式の冷暖房器具も使っていた為乗り越えられたという事例があった。新型コロナウイルスのワクチン接種も進んでいるものの未だ終息していない現状であり、窓を開けて換気するというのが中々止められない中でこういったトラブルにも対処できたのは非常に良かったと感じている。

2022年度は引き続き人員確保に努めるとともに、より良いシステムを構築していくことに邁進していく。